

フォーグリーンだより NO.9

緑は生命 しあわせ ふれあい

発行 2014年3月
NPO法人ひょうご宝塚園芸福祉協会
宝塚市中山寺3丁目1-14
TEL & FAX 0797-86-0619

新たな畑が誕生！



場所はゆうゆうガーデンと地続きの北側、8年間使われていない草の生い茂る畑 780 m²を縁あって新たに開墾しました。園芸福祉活動の広がりにも期待も膨らみ、平成 25 年 6 月背丈以上の草刈りから始め、人力ではどうにもならない状況を大型草刈機やトラクターなど地域の方の助けもあって何とか畝づくりも整いました。そして、かぼちゃとさつまいもを植えました。荒れ果てた土地は見事に緑の葉で覆われた畑と花畑に変身！美しい風景が生まれました。



名付けて {わくわく♪ファーム宝塚}。その隣 340 m²の土地は NPO 法人ワークスコープかんさいと共同で、花畑を作りました。わくわくファームは地域のオアシスとして、子供たち、シニア世代などが土に触れ、作物の収穫体験が出来る居場所にしようとメンバーは酷暑の夏もいとわず頑張りました。6月30日カボチャの苗、さつまいも苗植え付け、7月10日コスモスの種撒き、草取り、枯れた苗の補植など様々な行程を経て9月、カボチャ大小 100 個ほど収穫！そして10月31日～11月21日の期間、中筋児童館、長尾まちづくり協議会福祉部会、未就園児の子育てママのグループ、ボーイスカウトやボランティア活動センターのご家族連れなど延べ 300 人余の方がさつまいも収穫体験に訪れました。土の中から這い出す虫を捕まえたり、コスモス摘みをする親子や畑の周りを走り回る子供たちの姿にほっこり気分になりました。自然の中、笑顔で集える一歩が始まりました。



8月22日コスモス畑の草取り



10月11日朝陽に映えるコスモス

わくわく♪ファーム宝塚 さつまいもの収穫体験記

長尾地区まちづくり協議会

福祉部会長 古田時子

当協議会の福祉部会は、高齢者をはじめ乳幼児向けに、地域の諸団体と協力して、地域力、コミュニティ力をお借りし種々の福祉活動に取り組んでいます。そこで、地域の福祉資源を知る“長尾再発見ツアー”として、地域の有志の方々に発足したNPO法人ひょうご宝塚園芸福祉協会との共催で「さつまいも掘り」を過去4回開催してきました。今年は新たな体験農場わくわく♪ファームへ高齢者や若い親子が散策しながら到着し、ファームの皆さんのご指導のもと、早速お芋ほり。横では芋のつるをせっせともいでいる方、そして取り立てを調理した大学いもを、おやつに戴き楽しい午後のひとときを過ごすことが出来ました。



たけの子クラブ

齋藤 しのぶ

11月某日、たけの子クラブ一行（大人10名・未就園児11名）は“わくわくファーム”でお芋掘りを行いました。たけの子クラブ通常活動は平井児童館に集まり、館内のおもちゃで遊んでいるのですが、この日はみんな長ぐつをはき、手にはスコップなどを持ち、お外遊び全開モード!!。畑ではママとお芋を引っっこ抜いたり掘ったお芋を眺めたり触ったりしてとても楽しそうでした。スタッフの方が小さなお芋を子供たちに渡して下さったので「あかちゃんおいも」と言って、土を払ったりそっとさわったり・・・採れたてのお芋に興味津々な様子でした。大学芋の公開実況料理&試食を行って下さいました。その間子供たちは畑の畦に座って土いじり。大勢のスタッフの方々が子供たちを見守って下さいましたので、ママたちは出来たての大学芋をパクパク。畑でちょこんと座っている子供たちをみて、昔はこんな風景がよく見られたのだろうあと時代の変遷をつくづく実感しました。また、こういう経験ができた事を感謝します。有難うございました。

ミルキキッズ

矢野 彩

楽しいお芋掘りを体験させていただき有難うございました。小さい子連れメンバーがほとんどなので車で参加させていただき、とても助かりました。6月もジャガイモと玉ねぎ掘りを体験させていただきましたが、今回は新たに開墾された広い畑でのびのびと掘らせてもらいました。子ども達がかつろげるようにゴザを敷いて腰掛けも用意してくださりとても居心地が良かったです。お芋掘りが始まると、いつもの公園遊びとは違った土の触れあいに大人も子供も夢中でした。帰りにコスモスが終わりかけだからとコスモス狩りもさせてもらえ、たくさんの秋を分けていただき嬉しい1日となりました。



サンタクラブ

メンバー一同

簡単に掘れる状態にまでして頂いたので、さつまいもを掘り当てた時の子供たちの「あった〜」「おっき〜」と言う歓声と嬉しそうな笑顔が見れ楽しませて頂きました。土の感触を楽しんだり、虫が出てきたり子供たちには刺激になったようです。大学芋の作り方や試食、ふかし芋・コスモスまで戴きお腹も心も満足できました。他の収穫の機会があれば参加できたら嬉しいです。皆さん親切で、親子共々楽しい時間が過ごせました。有難うございました。



バスツアーに参加して

酒井 美重子

6月2日参加者42名、バスにて歴史・刃物の町・堺へ出発。堺市役所に到着後、ボランティアの案内で20階の展望台へ。360度の大パノラマ、街並みが一望出来る素晴らしい眺め、北に仁徳天皇陵をはじめとする百舌鳥古墳群の深い森が東西南北4キロほどの範囲で広がり、遠く生駒山系がかすんで見えます。西にはハルカスのビルが霞んで見えます。古くからの交通の要衝として栄えた堺には旧街道が通りしっかり確認できました。ボランティアの解りやすい説明、案内に感謝感激。

バスで移動、堺に繁栄をもたらした三好長慶が建てた南宗寺、三好一族の供養塔がありました。大阪夏の陣の時家康は茶臼山の激戦に敗れ綱代籠に乗って堺に逃げる途中、後藤又兵衛の槍に倒れ絶命、遺骸を南宗寺開山堂下に隠し徳川の世になってから久能山に改葬、のち日光山に移送したと伝説が記載されているとか。



徳川二代将軍、三代将軍家光があいついで訪れていて、墓の正面の唐門の屋根瓦の紋どころが「三つ葉葵」なんとなく信用できるお話でした。堺は千利久が生まれ育ち茶の湯を大成させ町でもあり、この南宗寺に一門の供養塔がありました。枯山水が茶室実相庵の前庭へと続き千家のお茶の原点が南宗寺での禅の修業だったかもしれません。昼食後堺伝統産業会館で刃物などのお買物、最後の国華園で花、野菜などのお買物も楽しんで帰路に着き、とても心に残る研修になりました。



植木剪定講習会に参加して

柴川 広一

7月21日(日)午前9時だというのに気温は35℃はあろうかという猛暑の中、チェリー畑のコンテナハウスで例年お馴染みの前田智弘先生の植木剪定講習会が始まりました。参加者は15名、今年は梅雨後の手入れ方法についての話で皆さん熱心に聞き入っていました。各家庭での盆栽、植木についての質問事項には丁寧に応答していただき好印象でした。



春と秋で剪定の仕方が違うし、常緑樹と落葉樹でも剪定の仕方が変わることも良く理解できました。何事も基本が大切だという事です。

講義の後、昨年同様チェリー畑の樹木・モチノキ槇、松、ゴールドクレストの剪定実習に入りました。作業方法、注意事項等説明の後、各自剪定ハサミを持ち思い切りよく刈り込み実施。作業終了後、評価発表もあり体験実習は終わりました。

約2時間の講習会でしたが、剪定とは如何に伸びようとする枝や芽を人の手で化粧を施す個性の表現力かとも思いました。

10月25日阪神北青い鳥教室報告

阪上 享子

毎年4市1町が持ち回りで開催する視覚障がい者の方たちの交流学習・青い鳥教室が今年は宝塚市で行われました。私は初級園芸福祉士を取得してから初めてスタッフとして関わりましたが、平成17年、21年、25年と当協会では3回目の寄せ植え講習会になるそうです。



視覚障がいの方たちは神経が鋭く、まるで見えるかのように意欲を持って取り組む様子に、どのように接したらよいのか迷う気持ちもありましたが、自然体でお手伝いをすることが出来ました。

今回のテーマは家のなかで空気清浄にも役立ち、水やりも気を使わない観葉植物サンデリアーナ、ヘデラと多肉植物カランコエ（愛称うさぎのきもち）の3種を植えました。最後に赤いりんごのピックを飾りにさして終了です。

台風の影響で講習会がスタッフの集合時間前にバタバタと主催者の意向で始まってしまい、このプログラムに対して事前の打ち合わせをする時間が取れず大変でした。視覚障がい者の皆様にまた4年後もお願いしますと言われ、ほっと安堵し満足していただけて良かったなあと思いました。



園芸福祉交流会に参加して

ゆうゆうガーデンオーナー金岡 昌代

いつも丹精込めて作った四季折々のお野菜を届けてくださり有難うございます。私も自分で野菜を作っていますが、ゆうゆうガーデンの野菜はお仲間の楽しむ姿が加わり、また一味違うような感じがします。

11月4日の{畑でお好み焼き}園芸福祉交流会に参加させてもらい楽しい時間が過ごせました。ゆうゆうガーデン産のキャベツや長芋入りのヘルシーな食材をたっぷり使ったお好み焼きは会話も弾んでより美味しく体も喜びました。菊の花も摘んで参加者のお土産になりましたが、何とも言えない菊の香りに癒されました。仏壇にお供える花にすると長持ちして有難いです。

8年前、園芸福祉活動を始めたいと借用の話がありました。実際にどのようなことになるのかは想像できませんでしたが、信頼関係の上で使ってもらいました。草が背丈まである畑をみんなの力で緑の美しい畑へと変貌させ、そこで笑顔の皆様を眼にするにつけ、土地も活かされて良かったと私も嬉しい想いでおります。四季折々、幸せの種を捲いてくださいね。



「アドプトをもっと良くする会議」開催

認定宝塚 NPO センター 吉野 茂子

昨年 12 月 4 日、阪神北泉民局管内のアドプト団体 30 団体の内、11 団体 26 名の方の参加で前半は団体の事例発表と貴協会の金岡理事長の花苗と植栽後の扱い方などの講義をしていただきました。後半は参加いただいた方々及び県職員の担当主幹・職員の方・宝塚 NPO センターの中山事務局長も参加し意見交換会及び交流会を行いました。



アドプト活動は県が管理する河川・道路・里山・公園などの草刈り・整備・清掃美化を行っています。どの団体も高齢化、参加人数の不足など同じ悩みを抱えていました。このような悩みを解決するにはどうすればよいかなど話し合いアドバイスをいただくことができました。また、アドプト事業での花苗提供は「ひょうご宝塚園芸福祉協会」のご協力によりとても良い苗とその後の管理方法などをご指導いただき団体の方々から大変喜ばれています。

いつもアドプト団体の方々とお話させていただくと、皆さん今現在の自分たちだけのために活動しているのではなく自分たちの次の世代、その次の世代へと将来の世代のためにいかに自然と上手く付き合い、また災害を最小限にとどめることを願っていらっしゃるということを大変強く感じます。この活動に 1 人でも多くの方が参加していただけるようにアドプトをもっと良くしていきたいと思っています。



中村 理人

ぼくはすくすく塾でいろいろな経験をしました。一つめは畑仕事です。畑仕事は種まきからしゅうかくまでいろいろあります。種まきをしたら水をやってまびきをして、また水をやってと大変です。でも大変な作業をのりこえるとみんなが大好きなしゅうかくが待っています。しゅうかくが楽しみだからがんばれます。でも種まきの前に・・・土をたがやさなければいけません。とくに大根を育てるときなどは土をたがやすのが重要です。たがやして石を取っておかないと大きくなならないし、大根がまたわれをした大根になってしまいます。なので土をたがやすのは重要です。二つめは工作です。クリスマスにはリース、お正月には門松などのお正月のかざりをつくったりします。いつもすっごく楽しいです。最後はおもちつきです。



2年生の時に入塾したまさと君 5年生になり心身共に逞しく成長し後輩を導いてくれる頼りになる先輩です。



おもちつきはきねと石うすでおもちをつきます。みんなについて食べるとすご〜くおいしいです。ほかにも時々だけど料理もします。すくすく塾はいつも楽しいです。

園芸福祉サポーター講座

11月9日(土)10日(日)16日(土)17日(日)の日程で園芸福祉サポーター講座を開きました。園芸福祉の活動をより理解し、仲間づくりに関わる新たな人材発掘も含めての学びの場で、講師は当協会理事たち。フォーグリーン立ち上げから10年、NPO法人認証から7年の活動実績から得たノウハウを、講座に活かして実質を高めて行く目的もありました。阪神北泉民局の後援もいただき、宝塚NPOセンターも広報にご協力頂きました。定員12名のところ当協会員も受講生として協力、9名の受講生が集まりました。宝塚園芸福祉協会の活動紹介、剪定の実習、植物の効用(ハーブの活用法、呆けないための野菜の食べ方)、ペットボトル利用の寄せ植え実習、野菜の作り方、ゆうゆうガーデン、わくわくファームでの実習など短期間ですが和気あいあいに講座を楽しんでもらいました。

玉ねぎ植え付けやさつまいも堀り、畑での交流会や修了証の授与もあり新たな仲間づくりや学びから生まれる活動が繋がれば・・・と期待も高まる講座となりました。



平成26年度総会のお知らせ

* 出欠は返信用ハガキにて4月5日必着

日時	平成26年4月20日(日)	13:30~16:30
場所	宝塚市共同利用施設中筋会館2F (JR中山寺駅下車・北東へ徒歩2分妙玄寺南側)	
内容	講演会 {日本の美食に魅せられて}: カルマール・ゲルゲイ氏	13:30~14:30
	総会 25年活動収支決算報告	14:40~15:20
	26年度活動計画収支予算案	
	交流会	15:30~16:30

園芸福祉活動に参加しませんか

会員募集中です 入会金 1,000円 年会費 3,000円 賛助会費 2,000円
 尚、25年度会費未納の方は下記までお振込みをお願い致します
 通帳名:特定非営利活動法人ひょうご宝塚園芸福祉協会
 他金融機関から・ゆうちょ銀行:普通貯金店名 中山寺ハチ 四三八 店番438口座番号5395886

フォーグリーンだより9号をお届けいたします

記録的な最高気温や最強寒波到来、未曾有の自然災害など不安が増す昨今、仲間づくりやふあう居場所が益々大切になりますね。26年度もつつがなく楽しく笑い合い、畑と共に心も体も耕して生きましょう。

編集:特定非営利活動法人ひょうご宝塚園芸福祉協会事務局 立川

665-0861 宝塚市中山寺3-1-14 電話&FAX 0797-86-0619

[アドレス: fumiyotate@ybb.ne.jp](mailto:fumiyotate@ybb.ne.jp) [ブログ ameblo.jp/tefk-4g/](http://ameblo.jp/tefk-4g/)